

武蔵村山市地域防災計画（素案）に対する意見と市の考え方

1 意見公募期間

令和7年7月16日（水）から令和7年8月14日（木）まで

2 提出方法別の提出人数及び意見数

提出方法	提出人数	意見数
持参	0人	0件
郵便	0人	0件
メール	0人	0件
ファックス	0人	0件
専用フォーム	3人	4件
合計	3人	4件

No.	該当ページ	意見の概要	市の考え方
1	応急 8 1 ページ 第 3 編 災害応急復旧計画 第 1 部 震災応急復旧計画 第 1 1 章 飲料水・食料・生活必需品等の供給 第 1 節 飲料水の供給	<p>東日本大震災時に、金町浄水場が放射性ヨウ素の汚染を受けた事実を考慮すると、応急給水拠点から飲料水の供給ができなくなる可能性がある。</p> <p>このことからペットボトル飲料水の備蓄について、計画内に記載したほうがよい。</p>	<p>市において、現在ペットボトル飲料水について備蓄を行っているところですが、引き続き備蓄していく旨を追記します。</p>
2	応急 1 3 3 ページ 第 3 編 災害応急復旧計画 第 2 部 風水害応急復旧計画 第 4 章 水防対策 第 1 節 水防情報（本部班） 2 気象情報伝達系統図	<p>ここで初めて水防管理者の記載が見られるが、水防管理者の定義があいまいなため、誰が水防管理者なのか明確に謳ったほうがよい。</p>	<p>第 2 節 水防機関の活動（本部班、道路下水道班、消防団、北多摩西部消防署） 1 水防機関の活動（1）市 の本文中、「水防管理者」の次に（市長）を追記して対応します。</p>
3	予防 3 2 ページ 第 2 編 災害予防計画 第 3 章 防災体制の整備 第 2 節 応急活動拠点の整備 3 災害時臨時離着陸場候補地等の選定	<p>東京都ドクターヘリランデブーポイントとして「さいかち公園（学園 4 - 5 - 2）」が指定されているが、同公園は、災害ボランティアセンターを設置する場所としても想定しているが問題はないか。</p>	<p>ドクターヘリのランデブーポイントについては、平時から運用され、指定場所が使用可能か都度判断することから、問題なく運用できると考えています。</p>
4	全般	<p>武蔵村山市地域防災計画作成にあたりご尽力された方々お疲れ様でした。</p> <p>想定される事や過去の経験から得た知識など幅広く取り入れているかと思いました。中でも衛星を活用した通信手段の確保などは災害時は必須なのではないかと思えます。</p> <p>すでに検討されているかと思いますが、災害時の状況把握について、ドローンが活用出来ると現状がいち早くわかり人命救助や情報の発信に活用出来るのではないかと思います。</p> <p>日頃の準備や訓練を馬鹿にしないでしっかりやっけていざという時に備える事が大切かと思えます。</p>	<p>ドローンの活用については、防災協定を締結しており、有事の際には要請に応じてドローンを活用した情報収集等を実施する想定です。</p>